

Pembrolizumab を投与された患者さんの

検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

[研究課題名] Pembrolizumab における irAE 発現因子としての炎症・栄養マーカーの有用性について

[当院の研究責任者] 薬剤部、牧 陽介

[研究の背景]

癌患者の予後指標としてNLR(Neut/Lymph)、PNI(Prognostic Nutrition Index)、CAR(CRP/Alb)などの血球細胞成分、栄養指標や炎症指標が多く使用され、近年では免疫チェックポイント阻害薬(以下ICI)の効果やirAE発現予測因子としての有用性が報告されています。

[研究の目的]

当院で Pembrolizumab を投与された方の irAE(immune-related Adverse Events)発現状況を診療科横断的に調査し、PNI、NLR、PLR、LMR、CAR の各マーカーが irAE 発現予測に有用であるか検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で西暦 2017 年 3 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日の間に Pembrolizumab を投与された患者さん。

●研究期間：西暦 2017 年 3 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：

性別、年齢、身長・体重(BMI)、診断名、PS、Stage、使用レジメン、投与回数、血液検査値(好中球数、単球数、リンパ球数、血小板数、アルブミン値、CRP)

●検体や情報の管理

なし

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

薬剤部 牧 陽介

802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881